湯悠だより

第41号

湯悠くらぶ

2010.8 発行

R&Sホテル館山マリンサイド　周辺情報

鶴谷八幡宮例大祭
やわたんまち

9月18日～19日

鶴谷八幡宮例大祭は、国司祭の伝統を引き継ぎ1000年以上行われている祭で、千葉県指定無形民俗文化財として指定を受けています。地元では『やわたんまち』として知られ、毎年およそ10万人の人出で賑わいます。昔の国司祭を継承したものと伝えられており、館山市および周辺の神社から、神輿・山車・お船が繰り出し、昔ながらの神事が行われます。館山市北条地区の5基の山車が参加し、立錐の余地もない程の賑わいとなり関東でも有数のお祭りといわれています。やわたんまちは、安房国司祭ともいわれ、鶴谷八幡宮社記には、そのはじまりが16世紀にまでさかのぼるとされています。そのほか、約150軒ほどの露店が立ち並び、祭りのムードをさらに盛り上げます。18日（土）は、10基の神輿が順次境内でもみ・さしを行います。19日（日）は、お祭りのクライマックスで、4基の山車と1基のお船が境内に集合します。また、前日に集合した10基の神輿と鶴谷八幡宮の神輿1基が次々にかつぎだされ、もみ・さし合う光景は勇壮で豪快です。郷土を離れた若者たちは、年に一度のこの祭りを楽しみに帰郷し、住民は一体となり盛り上がります。

【交通アクセス】
●開催場所：千葉県館山市　鶴谷八幡宮ほか
●自動車：富津館山道路・富浦ICから国道127号で約10分
電車・バス：館山駅から徒歩20分

R&Sホテルプレミアム京都御室　周辺情報

大覚寺　観月のタベ

9月22日～24日

平安時代初期に嵯峨天皇は、嵯峨野に離宮嵯峨院（現在の大覚寺）を造営しました。その際、唐の洞庭湖をモデルに、「庭湖」と呼ばれる日本最古の人工池（林泉）のある庭園をつくられました。周辺の山の高さ、木々の配置など、池を取り巻く背景が、まるで観月のために用意されているかの様に絶妙な調和を創り上げています。

旧暦の8月15日、本年は9月22日が中秋の名月にあたり、大沢池を中心に「観月のタベ」が催されます。「観月のタベ」は9世紀初め嵯峨天皇が大沢池に船を浮かべて文化人と共に遊ばれたことが始まりだと言われています。期間中は古式にのっとり大陸風の龍頭舟、鷁首舟を浮べ、お茶席が設けられ、池を一周しながらお抹茶を喫して水面に浮かぶ月を観ていただきます（約15～20分／有料）。五社明神と宝塔前の広場には、嵯峨の有名なお菓子屋、漬物屋、料理屋などが模擬店をだし、バイオリンや琴のコンサートなどで、夜半まで賑わいます。全国各地から多くの人達が来て大変賑わいます。

時間：17時～21時
参拝料：大人500円・小中高生300円

高台寺
秋の夜の観月のお茶会

9月10日～26日の金・土・日

豊臣秀吉の菩提を弔うため、北の政所（ねね）が創建した名刹・高台寺で秋月のもと、華やぎと文化の香りに包まれながら、宵のひとときをお過ごしいただくお茶会です。夕刻から高台寺「湖月庵」にお茶席が設けられ、月を愛でながらの茶会が行われます。料亭「羽柴」での点心、ライトアップされた名勝庭園の鑑賞など約2時間半にわたって楽しめます。秋の月、虫の音、秋草を愛でながら薄茶をしっとりとお楽しみ下さい。お茶席時間の合間に、高台寺庭園の拝観と点心（簡単な軽食）の夕食をお楽しみください。
※高台寺が法要の場合はお休みとなります。

交通：京阪「祇園四条駅」から徒歩13分、または阪急「河原町駅」から徒歩15分、またはJR「京都駅」から206系統の市バス約20分「東山安井」～徒歩5分
中央道諏訪ICより車で15分
料金：6,000円（拝観料込・点心・喫茶付）
受付／午後5時～6時